

稲作 特別情報

営農経済部

管内 18 地区の定点圃場にて、分けつ、草丈などの生育状況、病虫害の発生状況などを重点に調査を行った“**水稲生育状況調査**”結果を提供しますので、ご活用ください。

今週は、真夏日が続き猛暑が予想されます、熱中症には注意してこまめな水分補給し、作業を行ってください。



◆ トビイロウンカ について(令和3年7月21日現在)

JA 広島市管内では、**トビイロウンカの飛来は未確認。**
※引き続き、今後の動向に注意し、株元を中心に観察を行ってください。



◆ イネカメムシについて

広島県によると**イネカメムシ**は、昭和40年以前、“水稲の害虫”として認識していましたが、その後、被害もなく、推移していました。しかし、平成28年から尾道市を中心に、**稲穂の不稔症状による大幅な減収**が問題となり、調査の結果、**イネカメムシ**による被害と明らかになりました。



▲ 稲穂を吸汁するイネカメムシ

【広島県の被害が疑われている地域】

・尾道市御調町・三原市・呉市・広島市佐伯区

【他県での発生状況】

・茨城県・千葉県・静岡県・愛知県・岐阜県・京都府・三重県・滋賀県・山口県など

<生態>

- ✓ 体長：12～13mm
- ✓ 発生：年1回、暖地では2回
- ✓ 侵入・越冬：イネ出穂時期、イネ科植物株元など

<被害>

- ◇ 基部加害の斑点米
- ◇ 不稔症状
- 被害が重度の場合：成熟期でも傾穂しない
- 被害が軽度の場合：収穫後収量が少ない



⇒ **イネカメムシの被害**と気づかない！！ ▲ 基部加害型斑点米の混入状況(左：篩下，右：篩上) 広島県西部技術指導所資料より

<防除>

イネカメムシは、走り穂が始めると水田に侵入し、稲穂を吸汁することで、稲の生育や収量に大きな影響を与えます。日中は、株元に潜み、夕方頃から穂に上って加害する傾向があるので注意してください。

基本防除の出穂前、出穂後防除の徹底を行ってください！